

いよいよ動き出す「大きな魚」

2013年12月10日

クローバー・アセットマネジメント株式会社

代表取締役社長 多根幹雄

中国の設定した防空識別圏の問題や特定機密保護法案、さらには徳洲会をからめた猪瀬直樹東京都知事の疑惑がマスメディアを賑わしている。ここから見えてくるのは現代版の士農工商、つまり日本国民<日本企業<日本の政治家<日本の官僚<アメリカ政府<アメリカ企業<世界的資本家というヒエラルキーだ。今回は政治の分析がテーマでないので解説は次回以降に譲るとして、大事なポイントは、株式や為替などの動向を占うのにもっぱらアナリストは様々な経済指標を分析して判断するのだが、実際の経済はこれらの力関係の上位者が「どうしたいか」で動くことが多いということだ。マクロの分析にはそのような人間の意志をイメージすることも不可欠だと思う。

とは言え、実際の経済も人々の意識に大きな影響を与える。幸い経済の方はどんどん明るさを取り戻している。2013年上半期のアメリカGDP成長率は年換算で1.8パーセント、2014年は2.8パーセントと試算されている。失業率も7パーセントとリーマンショック以前の水準まで回復してきた。アメリカ市場が好調だということは日本の輸出企業にも良い話だ。日本も地方都市はまだ時間がかかるかもしれないが、東京は活況で、デフレスパイラルで静まり返っていた昨年までとは大きく様変わりしている。かつて壊滅的だったベンチャーへの投資にもお金が集まるようになった。人もお金も積極的に動き出している。

こう言った環境の中で「大きな魚」も動き出そうとしている。かつては日本の話をする顔そむけていたヨーロッパの投資家も、なかなか手放そうとしなかった金や新興国株、それに債券を売却して、日本株を自らのポートフォリオに組み入れようとする動きが出てきた。今まで日本株の売り手に甘んじていた日本の機関投資家も来年あたりは日本株のウエイトを上げてくるだろう。かつてバブルのころは55パーセントを超えたこともある企業の株式持ち合いもその後大いに売り浴びせて現在は約10パーセントほどだと言われている。売り手が限られる中、潜在的な買い手は世界中にあふれている。最近では日本企業への外国人投資家の訪問も目に見えて増えてきた。これだけはっきりとした兆候が出たのは何十年ぶりではないだろうか。経済学の基本中の基本だが『値段は需要と供給で決まる』のである。確かに過去一年大きく回復した日本の株式市場だが、5月以降の調整局面を経てエネルギーは蓄えられている。むしろこれからが日欧米も合わせた経済の回復を追い風に、本格的な相場が始まるのではと考えている。

もちろんこのような状況が永遠に続くわけではない。相場のサイクルが概ね3~5年だとするとあと2~3年というところだろうか。特に日本の場合、2015年10月（2段階目）の消費税率アップの後の反動が心配だ。逆説的にはそれまではかなりの相場が期待できそう。あらゆる市場に対応しようとする『時×空』投資を志向する当社のファンドにとっても買い入れていただくタイミングは大事だ。まだまだ銀行に無担保かつほぼゼロ金利でお金を貸している（つまり預金している）方は、是非、しっかり仕込みをして来るべき年に備えていただきたい。

ファンド概況

基準価額	10,633円	純資産総額	2,946百万円
設定日	2013年4月15日		
信託期間	無期限		
決算日	毎年2月25日		

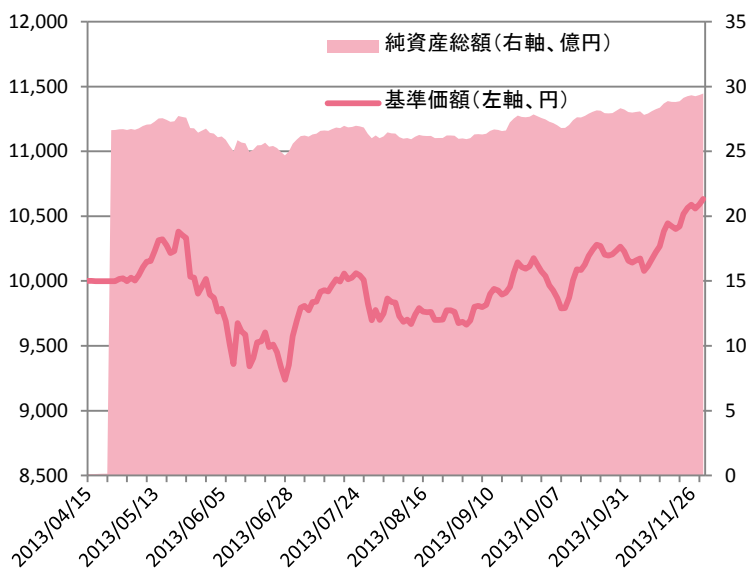
期間別騰落率(%)

1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
3.96	9.78	7.46	-	-	6.33

分配金(円)

1期 ('14/2/25)	2期	3期	累計
-	-	-	-

基準価額と純資産総額の推移



運用コメント

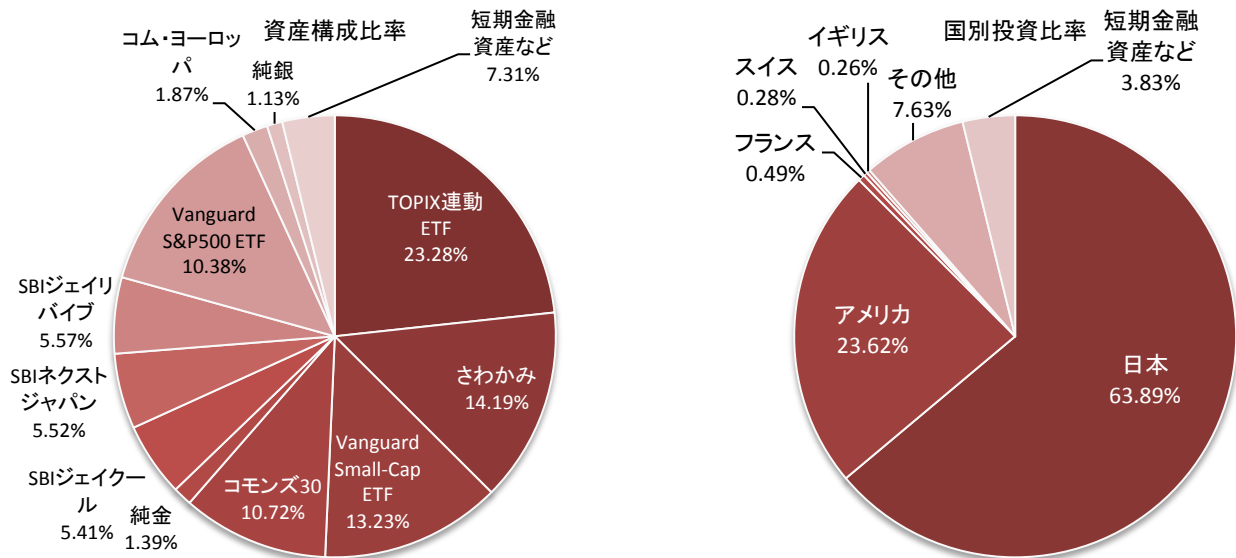
11月の米株式市場は、プラスの経済指標にもかかわらず、金融緩和の縮小につながるとの懸念から、下落するという奇妙な循環が続いていたものの、結果的には史上最高値を更新、7%台の上昇となりました。

日本株も徐々に進行してゆく円安と、まだ本格的ではないとはいえ海外からの資金流入もあり、9%台の上昇となりました。

コドモファンドにつきましては、10月中に、可能な限り買入れを行いましたので、順調な基準価額の上昇となりました。特に、さわかみファンド、バンガードスモールキャップETF、バンガードS&P500ETF、TOPIX連動ETFが大きく貢献してくれました。

12月については、6日に、米雇用統計の数値が大きく改善されたことに素直に反応し、ダウが200ドル近い上昇をみせるという今までにない市場の反応から、いよいよ奇妙な循環から抜け出せたとの感もあり、翌日、さらなる円安が進む中で、日経平均も大幅な上昇を見せました。もちろん今後も利益確定などによる調整局面があるのは当然ですが、「下がったら買い！」と、積極的に考えております。

ポートフォリオの状況



コドモファンド純資産総額に対する上位組入れ銘柄・比率 (ETFは除く)

(組入れ銘柄数: 349銘柄)

順位	銘柄名	業種	組入れ比率	組入れファンド名
1	トヨタ自動車	世界最大級の自動車メーカー	0.756%	さわかみ
2	ブリヂストン	世界最大手のタイヤメーカー	0.634%	さわかみ
3	ユニ・チャーム	ベビーケア・ヘルスケア商品の開発・販売	0.481%	コモنز30
4	楽天	「楽天市場」等インターネット総合サービスを展開	0.467%	コモنز30
5	日東電工	液晶用光学フィルム、医療用テープ等の製造	0.464%	コモنز30
6	カカクコム	電気製品等の価格比較サイト「価格.com」を運営	0.459%	コモنز30
7	小松製作所	油圧機器、建設重機、エレクトロニクスの製造・販売	0.458%	コモنز30
8	味の素	アミノ酸をコアとした食品企業グループ	0.455%	コモنز30
9	ローソン	コンビニエンスストア「ローソン」のフランチャイズチェーン展開	0.446%	コモنز30
10	シスメックス	血液検査機器で国内1位、世界9位	0.445%	コモنز30

ファンドの特色

①「長期投資」

世界経済は大きなサイクルでダイナミックに変化しており、それに伴って、株式や債券、商品、不動産等の資産価格も変動しています。短期的な動きには追従せずに、長期的な視点で世界を俯瞰した運用を行います。

②「分散投資」

政治・経済の様々なリスクに対応するために、国や地域、資産そして時間を分散させます。分散投資をより効果的に行うために、国内外の複数のファンドに投資します。

③「厳選したファンド」

当ファンドの目的や運用方針を共有できる運用会社を厳選し、その会社が運用するファンドに投資します。また組入れにあたっては、国内外のETF(上場投資信託証券及び上場投資証券)に投資する場合があります。

ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。

投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者(投資者)の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

<お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください>

ファンドにかかわる費用

購入・換金手数料	ありません
信託財産留保額	ありません
運用管理費用 (信託報酬)	年率1.05%(税抜き1.0%) 組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.9±0.25%(概算)
その他費用・ 手数料	信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。

業務管理部からのお知らせ

師走にはいり、何かと慌ただしい季節となりました。寒さ厳しい折、皆様お変わりございませんか。

【目論見書更新のお知らせ】

先日、かいたく・らくちん・おふくろ ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）を改訂いたしました。今回は、基準価額の推移、運用実績の更新など軽微なものとなりますので、交付対象となるお客様のみにお送りしています。また、目論見書はご請求いただければお送りいたします。ホームページでもご確認いただけますので、ご覧下さい。

【年末年始の営業について】

12月30日(月)	12月31日(火)～ 平成26年1月5日(日)	平成26年1月6日(月)
通常営業:9:00～17:00 売買注文受付:9:00～15:00	休業日	通常営業:9:00～17:00 売買注文受付:9:00～15:00

※年内に解約代金受取を希望されるお客様は、12月20日（金）15：00までにお電話下さい。

※解約代金の受取が平成26年以降になる場合、所得税率は、20.315%となります。

【所得税に関する変更について】

平成26年適用分 特定口座源泉徴収区分	特定口座をご利用いただいているお客様で、「源泉徴収あり・なし」の区分変更をご希望の場合は、お電話にて「特定口座源泉徴収選択届出書」をご請求ください。
所得税率	平成26年1月1日以降、所得税率は、20.315%（所得税15%、復興特別税0.315%および地方税5%）となります。（*法人の場合は、上記と異なります。）
特定口座約款	一部改定（平成26年1月1日施行から実施） 詳細はホームページ、または10月にお送りした「特定口座約款一部改定のお知らせ」をご確認ください。

* 上記は平成25年11月末現在のものです。税法が改正された場合、上記の内容は変更になることがあります。課税上の取扱いにつきましては、最寄りの税務署にご確認ください。

【毎月つみたてスケジュール】

引落開始月	新規申込・引落口座 変更締切日	引落金額変更・ 中止締切日	引落日	約定日
平成26年1月	受付終了	12月17日（火）	平成26年1月6日（月）	平成26年1月17日（金）
平成26年2月	12月26日（木）	平成26年1月23日（木）	平成26年2月5日（水）	平成26年2月18日（火）

※毎月つみたてサービスの金額変更・中止については、お電話でも承っております。その際、ご本人様確認（氏名、住所、現在の契約内容等）をいたしますので、予めご準備をお願いいたします。

クローバー・アセットマネジメント株式会社 業務管理部（受付時間：平日9時～17時）

TEL:03-3222-1220 / E-mail: gyoumu@clover-am.co.jp

当資料のご利用にあたっての注意事項

■当資料はクローバー・アセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）等をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります）に投資いたしますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆様の投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。■運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。■当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。■当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。■当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。■投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。

ファンドご購入方法のご案内

クローバー・アセットマネジメント株式会社

このご案内は2013年4月3日以前に当社に口座開設されたお客様向けのものです。

今までお取引のないファンドを購入する場合→ご注文(購入連絡)が必要です

1

お振込

○既にお取引しているファンドが1つの場合
→今までと同じ口座にお振込ください。

○既にお取引しているファンドが2つ以上の場合
→今までと同じ口座のいずれかひとつにお振込ください。

2

ご注文(購入連絡)

○購入ファンド名と購入金額をお知らせください。

【お電話】03-3222-1220

または

【HP】<http://clover-am.co.jp> 「ファンドのご注文(購入)」をクリック

3

受付完了

！申込当日の15時までに「お振込」・「ご注文(購入連絡)」をお願いします。

！「ご注文(購入連絡)」がない場合は、全額、お振込先口座のファンドの購入となります。

！ご注文(購入連絡)内容の変更・取消しは、申込当日の15時までとなります。
※ご注文内容の変更・取消しは、お電話でのみ承ります。

4

購入(約定)

○受付完了日の翌々営業日の基準価額での購入(約定)となります。

○取引明細を記載した「取引報告書」を送付いたします。

既にお取引している1つのファンドを購入する場合

今までと同じ方法(購入代金の振込後、ご注文なし)でお取引いただけます。

複数のファンドをまとめて購入することも可能です

複数のファンドを同時に購入する場合は、お持ちの口座のいずれか1つにお振込ください。※振込手数料が1回分で済みます。

お振込後、ご注文(購入連絡)を必ずお願いいたします。

ファンドのご解約(換金)はお電話(03-3222-1220)でのみ承っております